

湖北地域消防組合

(仮称)東浅井消防署庁舎整備基本計画

(仮称)米原消防署・(仮称)米原出張所庁舎整備基本計画

概略版

はじめに

この計画は、「消防力適正配置に向けた消防施設整備計画」(令和2年2月策定)に基づく7署所体制の整備に向けて、基本的な方針や必要な施設機能について定めたものであり、新庁舎の位置、規模など基本設計に反映すべき諸条件を整理しました。

消防庁舎整備に係る基本方針

消防防災の機能を十分発揮できる庁舎を整備するため、3つの方針をまとめました。



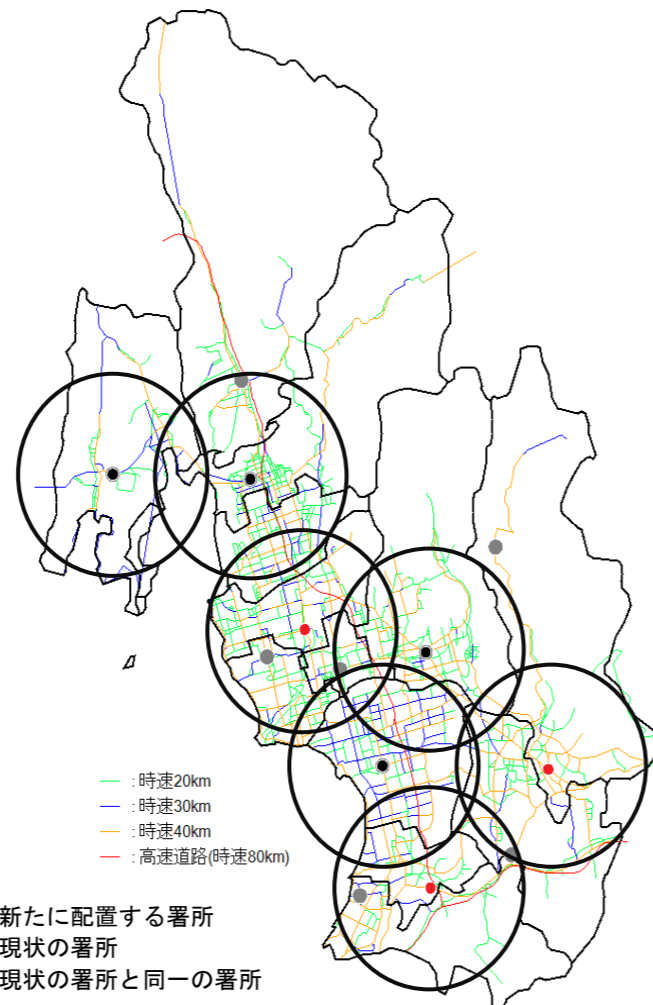
- ①災害に強く機能が持続できる庁舎
自然災害に強い庁舎、災害で社会的インフラが破壊されても災害対応の機能が維持できる庁舎、災害活動の拠点となる庁舎。
- ②教育訓練機能を有する庁舎
消防職員の教育訓練、消防団に対する訓練、住民に対する研修等ができる施設を整備。
- ③人と環境にやさしい庁舎
人にやさしい庁舎、親しみやすい庁舎、環境にやさしい庁舎。

建設予定地の選定

建設予定地の選定要件としては、(一財)消防防災科学センターの消防力報告書で示された将来7拠点の地点を中心に、半径1kmの範囲内で選定しました。

消防力適正配置に向けた消防施設整備計画において、東浅井分署とびわ出張所は、(仮称)東浅井消防署として、米原消防署と米原・伊吹出張所は(仮称)米原消防署、(仮称)米原出張所として整理統合移転することで、立地構成市と用地取得に向けた検討協議を進めてきました。

この施設整備計画に基づき署所を整備することで、災害発生時の初動対応力を強化すると共に、効率的な運用を図ることが可能となります。



出典: 消防力適正配置調査報告書((一財)消防防災科学センター) 将来的な署所体制での署所配置

(仮称)東浅井消防署 建設候補地

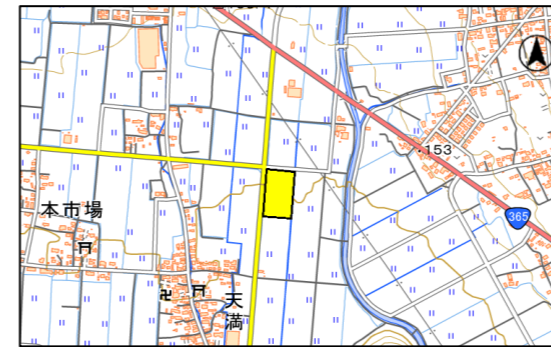


- ・長浜市湖北町小倉826番地 他2筆
- ・敷地面積 6,754㎡

(災害リスク)
高時川の洪水による浸水被害等の可能性も低いことから、安全度の高い地域です。

(平常時・災害時の機動性)
県道安養寺虎姫線に面しており、国道8号線に近接していることや北陸自動車道の小谷城スマートインターからのアクセスもよいことから、平常時・災害時問わず、市内全方位に対して機動性が良い地域です。

(仮称)米原消防署 建設候補地



- ・米原市天満1107番地 他3筆
- ・敷地面積 8,720㎡

(災害リスク)
地震による液状化等の被害や天野川及び姉川の洪水による浸水被害等が発生しない地域と想定されており、災害に対して強く、安全度の高い地域です。

(平常時・災害時の機動性)
県道天満一色線と県道間田長浜線の交差点に面しており、国道365号線も近く、周辺道路は米原市地域防災計画において緊急輸送道路として指定されていることから、平常時・災害時問わず、市内全方位に対して機動性が良い地域です。

(仮称)米原出張所 建設候補地



- ・米原市西円寺1695番地 他1筆
- ・敷地面積 3,488㎡

(災害リスク)
地震による液状化等の被害発生は想定されておらず、浸水等の可能性も低いことから、安全度の高い地域です。

(平常時・災害時の機動性)
国道21号線と市道ニレ前田線の交差点に面しており、北陸自動車道の米原インターと国道8号線に近く、周辺道路は、米原市地域防災計画において緊急輸送道路として指定されていることから、平常時・災害時問わず、市内全方位に対して機動性が良い地域です。

庁舎の施設計画

- (1) 共用エリア・・・ユニバーサルデザインを採用し、すべての人に分かりやすく利便性の高い動線配置とします。
 - (2) 執務エリア・・・住民サービスと事務の効率化を図れるように計画します。
 - (3) 生活エリア・・・車庫エリアに近接して配置し、緊急出動時に効率の良い動線を確保します。
- また、女性専用スペースを設け、職員のプライバシーに配慮します。

付帯設備の施設計画

訓練施設、屋外訓練場、消防水利、ヘリコプター場外離着陸場等を整備します。

建設スケジュール

当該スケジュールの詳細については、基本設計の段階で必要な調整を図ります。

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
用地測量	■				
造成設計・工事		■	■		
基本・実施設計		■	■	■	
建築工事			■	■	■
庁舎移転					■
解体工事					■